



イレブンエクシード通信 2月号



経営理念

～一人でも多くの幸せのために～

幸福は自分一人では感じにくいです。また、自分のためだけの幸福は本当の幸福とはいいいにくい。誰かのために仕事をする、誰かのために役に立つこと、誰かのためにやったことで感謝される、周りに感謝をする。それこそが幸福と実感する。充足感を感じることができる。そんな社会を目指していきたいです。

私達の目的

仕事を通じて一人でも多くの人々に安全で安心した生活を提供し、喜びに満ち溢れた幸福な社会を目指していきます。

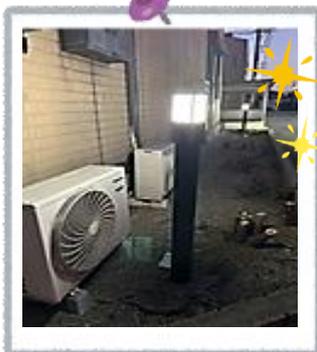
お客様から嬉しいお言葉をいただきました！

昨年10月・11月号の「蛍光灯 2027年問題（蛍光灯の製造・輸出入の終了）」特集をご覧いただいたアパート経営をされているお客様より、LED工事のご依頼をいただきました。

今回、お客様のLED化のご決断された背景には、弊社の通信にてお知らせした「蛍光灯 2027年問題の懸念」と「LED化への切替に最適なタイミングであったこと」が大きく影響されたとのことでした。

「蛍光灯 2027年問題」を考慮してLED化されたことでお客様には「安定した照明環境の確保」や「消費電力など、長期的なコスト削減」などの効果を楽しんでいただけます。

省エネ



お客様からの「本当にタイミングがよかった」というお言葉は弊社にとっても大きな励みです。今後も皆様のお役に立てる情報提供ができるよう努めてまいります。

お早めに！👍

※昨年後半から全体的にLED器具の納期が遅れており、今回もご依頼を受けてから2ヶ月程かかりました。現在、納期遅延は更に拡大しておりますので、お早めのご計画を！！

災害の時にみんなで安全に避難するために気をつけること！！

災害が起きたとき、障がいのある方が安心して避難できるようにするためには、地域全体での理解と支援が欠かせません。まず大切なのは事前の準備です。



避難前の準備



常用薬・補助具（杖・車椅子・補聴器など）を備えておく



避難経路と支援者を事前に確認しておく



緊急連絡先をメモしておく

※こだわりの強い方やお子さんなど持っていて何か安心できるグッズなども備えておくといいです



実際に避難するときには、それぞれの障がいに応じた支援が必要になります。

避難するとき



《車椅子利用者》
バリアフリー経路を介助者と避難



《視覚障がい者》
声かけ・手引きでサポート



《聴覚障がい者》
文字やジェスチャーで情報伝達

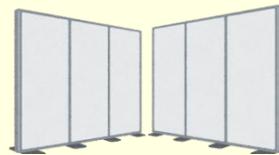


《精神障がい者》
落ち着ける声かけ・安心できる人と同行

緊急避難場所に避難したのちに、必要であれば福祉避難所の利用が可能です。（医療・介護支援あり）
また緊急避難場所でも

- ・ パーテーションでのプライバシー確保
- ・ 食事やトイレ利用に関するサポート

この2点に関して最大限の配慮が必要になります。



周囲の人ができること

- ・ 「何を手伝えればいいですか？」と本人に確認していく
- ・ 状況に応じて柔軟に対応
- ・ 地域の避難訓練と一緒に参加していくことも必要

何か手伝えることがありますか？



障がいのある方の避難では、事前準備、避難時の移動や情報支援、避難所での環境整備が大きなポイントです。地域のみんなが声をかけ合い、協力し合うことで、誰もが安心して避難できる環境をつくることができます。そのためにも日ごろから地域とのかかわりを持っていき、そして避難訓練にも積極的に参加していくことが必要だと思います。



「イレブンエクシード通信」は、弊社とお取引させていただいた方に送付させていただきます。

ご不要の場合は、恐れ入りますが、ご一報ください。

